

2025年度 事業計画書

自：2025年 4月 1日

至：2026年 3月31日



公益社団法人企業情報化協会

1. 2025年度活動基本方針

ー『経営とITの融合 デジタルを活用した持続可能なビジネス変革』ー

2025年度は、加速するデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みを更に推進し、企業の競争力強化および持続可能な社会の構築を目指します。生成AIやメタバース、Web3.0などの最新技術を積極的に活動に取り入れる一方で、倫理的課題やプライバシー保護への対応も進めます。

さらに、サイバーセキュリティの重要性が増す中で、情報漏洩リスクの軽減、不正アクセスの防止、ランサムウェア対策の強化など、具体的な課題に取り組むとともに、最新のサイバー攻撃手法に迅速に対応する体制の整備などを共有し、会員企業が安心してデジタル技術を活用できる環境の実現に向け情報発信をしてまいります。

また、国内外の技術トレンドや政策の動向を深く理解し、会員企業のDX推進に資する情報を発信してまいります。デジタル技術を用いた新しい価値創造が企業の成長だけでなく、地域社会の活性化や社会課題の解決にも寄与することを目指します。

特に、生成AIやビッグデータの活用による業務効率化と新規ビジネスモデルの創出を支援し、企業の持続的成長を実現するための具体的なソリューションを提供します。一方で、急速に普及するデジタル技術の倫理的課題や規制への適応を進め、健全なデジタルエコシステムの構築を推進します。

会員企業間の連携を強化し、相互の知見を共有することで、業界全体の成長を促進します。このため、オープンイノベーションの促進を目的としたフォーラムや交流イベントを積極的に開催し、新しいネットワークの形成を支援します。これにより、業界内外での連携を深め、より多様な視点からの問題解決を目指します。

これらの活動を通じて、公益社団法人企業情報化協会は、企業のDX推進を支援するとともに、持続可能な社会の実現に向けて確かな歩みを続けてまいります。

本年度も、日本経済が直面しているテーマを軸として情報化推進のための調査研究を積極的に実施いたします。2025年度は先に示した基本方針に基づき、次の重点項目について展開を行います。

1.1 デジタル・IT活用高度化とDX推進

社会がデジタル化の波に乗り、ビジネスにおいてもDXが特に重要視されています。広い範囲での変革が進み、AI、Web3.0、メタバースなどのデジタルテクノロジーを活用した新しい製品やサービスが次々と登場しています。

また企業や組織が競争力を維持・向上させるためには、デジタル技術の進化に対応し、業務プロセスを効率化・最適化する必要性があります。

これらの情報を広く産業界・企業に発信し、技術の進化が新たなビジネスモデルを生み出す流れを広めていきます。

1.2 VUCA時代に即応した研究会・シンポジウム活動の強化

小会では時代に即し、かつ会員企業からの要請のある様々なテーマや階層別の研究会を12本開催しておりますが、時代的に先取りの情報収集が必要なテーマを厳選し、研究会活動の再編と深堀を行い内容の一層の充実、強化を行います。

また最新の技術や経営手法を紹介する各種シンポジウム(サイバーセキュリティ・AI・ロボティクス・ビッグデータ)を8月に集中させて開催することで、効果的な集客を図るとともにデジタルビジネス推進のための強化週間(IT協会Digital Days)と位置づけ開催をいたします。

1.3 会員相互の交流の活性化

産業界を取り巻く経営環境の変化や、小会に対する期待を確実に把握し、事業活動へ反映するため、会員交流会を起点とした活動を推進します。

会員相互の交流を活性化させるため、コミュニティの魅力を高める様々なコンテンツやイベントを通じてメンバーの関与を促進します。

また会員からのフィードバックを通じ、その要望に応え、コミュニティの改善を進め、最終的には、信頼感や共感を築くために透明性の高いオープンなコミュニケーションを促進し、会員同士が積極的に情報共有や交流を行えるようサポートします。

2. 個別事業活動内容

2.1 会員活動

2024年度末現在、正会員187社となっております(2023年度末 180社)。またカスタマーサポート部門を対象とした準会員については、2024年度末現在の会員は41社となりました(2023年度末39社)。

2025年度は、会員のためのサービスの充実化をはかることにより、更なる会員企業の拡充に努めてまいります。また過去に小会のアワードを受賞した企業にも積極的な入会の要請を行い合計240社を目標に取り組んでまいります。

2.2 事業活動

(委員長は一部依頼中を含みます。文中敬称略)

2.2.1 表彰ならびに顕彰活動

(1) 2025年度第43回「IT賞」

IT賞は高度情報化を実現し経営革新に顕著な成果を収めた機関・企業を表彰し、我が国の情報化促進に寄与した証として顕彰しています。

2025年度の「IT賞」は「マネジメント領域」「顧客・事業機能領域」「社会課題解決領域」「トランスフォーメーション領域」「オープンイノベーション領域」「サステナビリティ領域」の6種のカテゴリーに適合する企業の発掘と積極的なプロモーションを行い、多くの会社に応募頂けるよう努めてまいります。更に情報化の推進に顕著な功績が認められる個人に対しての表彰である、「Super SE 100人衆」も強化して参ります。

(審査委員長:萩野 達也 慶応義塾大学 名誉教授)

(2) 2025年度第26期「カスタマーサポート表彰制度」

既に国民生活の社会インフラとなっているコンタクトセンターにおいて顕著な成果を収めた機関・企業を表彰し、特に顧客に対するサポート・サービスに関して、創意工夫や先進的な試みを行い、定量的な成果を伴う、顧客体験価値の向上をもたらした他の模範となるべく成果をあげられた企業に対して“Best Customer Support of The Year”として表彰を行います。

また、当年度もカスタマーサポート推進に顕著な功績が認められる個人に対しての表彰である、「カスタマーサポートプロフェッショナル100人衆」も強化して参ります。

(審査委員長:西尾 久美子 近畿大学 経営学部 教授)

2.2.2 大会(カンファレンス)事業活動

(1) 第41回IT戦略総合大会(ITMC2026)(2026年1月29日・30日)

IT協会の年次大会として「経営とITの融合を目指して」を統一テーマに掲げ、企業情報化の更なる推進に向けてCIOを含む経営者や幅広いマネジメント層を対象に、経営者による基調講演やIT賞受賞記念講演、更にはソリューションコースを併設して開催いたします。

(企画委員長:山内 雅喜 小会会長 ヤマトホールディングス株式会社 参与)

2.3 海外調査研究活動

(1) 第35次トップエグゼクティブミッション

ーCIO(情報統括役員)のための海外研究調査団(2025年10月6日～10月12日)

海外におけるIT活用の最新のトレンドを中心にAIやサイバーセキュリティ、サステナビリティなどの新潮流およびその利活用を通じて今後の情報戦略の一助となることを目的に開催いたします。(視察先:スイス・ノルウェー(仮))

(団長:山内 雅喜 小会会長 ヤマトホールディングス株式会社 参与)

2.4 研究会および関連事業活動

(1) 第20期グループCIO交流会議(2025年5月)

自社およびグループのIT戦略強化に向けて、デジタル時代に対応したビジネス変革を目指し、システム開発の高速化やDX人材の育成、レガシーモダナイゼーションの実現などをテーマに、グループCIOが取り組むべき必須の課題について研究と交流を進めます。

(企画委員長:中島 洋 一般社団法人沖縄トランスフォーメーション 理事長)

(2) 第19期サービスマネジメント研究会(2025年4月)

ITサービス全体最適化とデジタルトランスフォーメーションを支えるIT運用の実現に向けてITサービスマネジメントのあり方の研究を通じて、IT利用者と提供者の双方に有益なサービスマネジメントとITリテラシーの向上策を検討いたします。

(企画委員長:桑名 正人 NTTコムウェア株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員)

(3) 第18期IT人材活性化コンソーシアム

3-1. 第18期IT人材活性化研究会(2025年7月)

急激なデジタル社会が進みビジネスにおけるIT化が進む中、特にIT人材採用・育成の必要性がこれまで以上に重視されるようになってきた昨今、IT企業・IT部門における元気ある職場づくりを目指すべく、社員個々ならびに組織全体の活性化を図るための各種施策や人事戦略など、実践的な取り組みをベースに研究を行ってまいります。

(企画委員長:鳴谷あゆみ 東京ガスiネット株式会社 取締役会長)

3-2. 第4期女性ネクストリーダー育成研究会(2025年9月)

次世代女性社員のキャリアに対する意識改革や組織の女性活躍推進、次世代女性リーダー育成を目的に、各社事例を通して女性だけでなく全社員が働きやすい環境作りや施策・戦略について研究を行ってまいります。

(4) 第17期ITコア人材ネットワーク交流会(2025年6月)

本交流会は、将来IT分野で活躍が期待されている中核人材(27歳~40歳)の異業種交流の場として位置づけ、知見や視野の拡大、将来につながる人脈形成と情報リテラシー向上を目的に開催致します。

(ファシリテーター:牧野 司 東京大学大学院 情報理工系研究科 非常勤講師)

(5) 第14期ビジネスイノベーションコンソーシアム

5-1. 第14期ビジネスイノベーション研究会(2025年11月)

データを制する者がビジネスを制する。データ利活用による生産性の向上と新たな価値創出が重視されている昨今、企業は“ビッグデータ”を分析・活用し、経営判断のための新たな知見や予測を見出す必要に迫られています。この“ビッグデータ”の戦略的活用と有効性について、活用・技術・人の観点から考察し、先進事例を通してビジネスにイノベーションを起こすべく研究を行ってまいります。

(企画委員長:調整中)

(6) 第11期情報セキュリティコンソーシアム

6-1. 第11期サイバーセキュリティ戦略マネジメント研究会(2025年10月)

昨今、増加の一途を辿るサイバー犯罪に関連し、DDoS攻撃・ランサムウェア被害等が頻出しております。今後のサイバーセキュリティ対策の在り方ならびに強化策、更には人材育成まで含めた情報セキュリティに関する研究会を開催いたします。

(企画委員長:堀 晃雄 野村ホールディングス株式会社 執行役員)

6-2. 第12回情報セキュリティシンポジウム(2025年8月)

IT先進国でも既に国家規模で深刻な危機に直面している情報漏洩やサイバーセキュリティに関する課題に対し、今後のサイバーセキュリティの強化策について、セキュリティ専門企業やスペシャリストによる最新の方法論を紹介するシンポジウムを開催いたします。(IT協会Digital Days内開催)

(7) 第10期デジタルビジネス推進コンソーシアム

7-1. 第10期デジタルビジネス推進研究会(2025年6月)

本研究会は、デジタル技術の進展とそれに伴うビジネス革新を実現するための方法について、内外の先端の事例研究と参加者相互による議論を深めながら研究を行い、その成果について提言を行ってまいります。

(企画委員長:太田 朝道 JR東日本メカトロニクス株式会社 代表取締役社長)

7-2. 第9回デジタルビジネス革新シンポジウム(2025年8月)

デジタルビジネス時代に求められるIT新潮流の利活用の追及を目的に「支える」「つなぐ」「予測する」などの視点とビッグデータやAIを含めた多量の方面から今後のビジネス変革の可能性について情報提供を行うことを目的に開催いたします。(IT協会Digital Days内開催)

7-3. 第4次デジタルビジネス研究調査団(2026年1月)

成長著しい東南アジアにおいて推進されているデジタル化について、市民生活への浸透度や企業活動における戦略的活用方法について調査し、日本国内のデジタル化と比較検討を行うことを目的に開催いたします。

(8) 第10期次世代経営幹部養成コース(2025年7月)

多くの経験やノウハウを有する実務家(経営者、IT担当役員)の方々と実際に交流を行い、より高度な議論を展開させることによって、企業にイノベーションを起こすことのできる次世代幹部としての素養を体得いただきます。

(9) 第4期BPM推進プロジェクト

9-1. ビジネスプロセス改革入門セミナー(2025年7月・2026年3月)

本基礎コースは、業務プロセスの見直しや、事務オペレーションの自動化などの改革手法やノウハウについて学習いただきます。今後の自社業務の標準化や働き方革新のためのスキルを体得いただくと同時に、これを推進する要員・責任者の育成を目的に開催いたします。

9-2. 第20回デジタル業務改革/BPMフォーラム(2025年12月)

本フォーラムでは、業務プロセス改革を成し遂げ、成果を上げた事例を紹介するとともに、オペレーションの自動化ツールやAIとの有機的連携等を紹介し、今後の働き方革新や企業価値向上の一助となることを目的に開催いたします。

(10) 第5期ニューノーマル時代の最新技術活用コンソーシアム

10-1. 第5期デジタル技術実践研究会(2025年9月)

本研究会では、デジタル技術のビジネス活用について特に生成AIにフォーカスし、国際的活用ルールの最新動向や、生成AIがもたらすビジネス革新や働き方改革事例の紹介を中心に研究を進めてまいります。

(企画委員長: 矢部 剛 ニッセイ情報テクノロジー株式会社 代表取締役会長)

10-2. 第3期ニューノーマル時代の最新技術活用シンポジウム(2025年8月)

本シンポジウムでは、ニューノーマル時代に対応したオフィスシステムの有り方や働き方革新を実現する上で必携となる各種デバイス、更にはAIやロボティクスの活用といった近未来を先取りするテクノロジーについて情報提供を行います。(IT協会Digital Days内開催)

(11) カスタマーサポート部門領域活動

11-1. 第25期カスタマーサポート革新研究会(2025年5月)

カスタマーサポート領域のマネジメント上の課題、人材確保と育成、アウトソーシングマネジメント、またAI等の高度な最新技術の利活用による、新しい顧客価値の創造に寄与する革新的な取り組みを対象とし、真に経営貢献できるカスタマーサポートのあり方について研究を進めます。

(企画委員長: 澁谷 尚樹 株式会社東京海上日動コミュニケーションズ 代表取締役社長)

11-2. 第28回カスタマーサポートシンポジウム(2025年9月11日・12日)

「顧客価値創造を実現するカスタマーサポートを目指して」を統一テーマに、国民生活のサービス向上に資するための研究成果の発表やわが国を代表するカスタマーサポートやコンタクトセンターの先進ユーザ事例・課題解決のためのツール・サービスの発表とカスタマーサポート表彰制度表彰式典からなるシンポジウムを2日間にわたり開催いたします。

(運営委員長: 浅野 紀美夫 プラス株式会社 代表取締役副社長)

(12) 第14期サービス・ホスピタリティ研究会(2025年8月)

本研究会は、当世一流と言われるホテル・百貨店・テーマパークなどのエクセレントサービスから100年以上にわたって存続している長寿企業のおもてなしのころまで、今昔100年の物差しの中でサービス・ホスピタリティとは何かを研究します。

(企画委員長: 原 尚子 株式会社IDホールディングス コーポレート戦略部 執行役員 兼 部長)

3. その他活動

小会が研究会などを通じて蓄積したノウハウなどを基に、講師やコンサルタント派遣によるBPM領域の支援や人材育成プログラムならびにコンタクトセンター変革支援などの活動を推進いたします。

以上